

キンモンホソガの第1世代の羽化時期が平年より早まる見込みです。適期防除に努めましょう。

現在の状況

- 1 基準圃場（北上市成田：無防除）におけるフェロモントラップの越冬世代の誘殺は、平年より3半旬早い4月第2半旬に羽化盛期が認められた（図1、表1）。
- 2 有効積算温度に基づく第1世代の羽化盛期の予測から、第2世代の防除時期は平年より早いと予測される（表2）。
- 3 仙台管区气象台発表(5/16)の1か月予報によると、向こう1か月（5/18～6/17）の気温は平年より高い見込み。

防除対策

- 1 第1世代羽化時期に合わせて適期に防除する（表2）。ネオニコチノイド剤は羽化始期～羽化揃期、IGR剤は羽化始期～羽化盛期に使用すると効果が高い。羽化始期は羽化盛期の5日前、羽化揃期は羽化盛期の5日後が目安である。

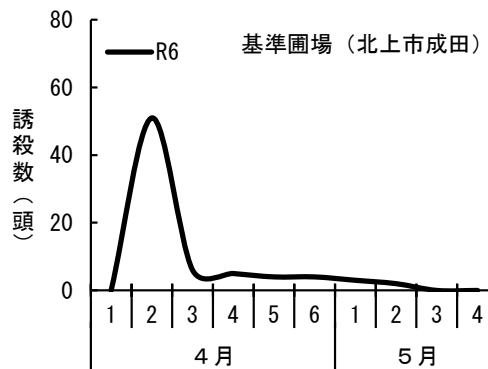


図1 基準圃場におけるキンモンホソガの誘殺状況

表1 基準圃場における越冬世代羽化盛期

R6	4月第2半旬
平年	4月第5半旬
差	-3半旬

※ フェロモントラップ誘殺の羽化盛期

表2 アメダスデータによるキンモンホソガ第1世代羽化盛期の予測（5月22日現在）

地点名（標高）	羽化盛期
盛岡（155m）	6月3日
北上（61m）	5月25日

※ 羽化盛期は、当年の越冬世代成虫のフェロモントラップへの誘殺盛期（北上は4月第2半旬、盛岡は4月第5半旬）を起点とし算出（平成22年防除技術情報）

※ 5月21日まではアメダス現況値を、5月22日以降は平年値に+2.0℃を加えた値を利用した

※ 観測地点の標高より100m増すごとに羽化盛期は3～4日遅れるので注意する

【利用上の注意】

本資料は、令和6年5月15日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は（1）使用基準の遵守（2）飛散防止（3）防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

